

レセプト振替・分割

資格過誤による 返戻減少の仕組みが本格運用

オンライン資格確認 導入のメリットなし

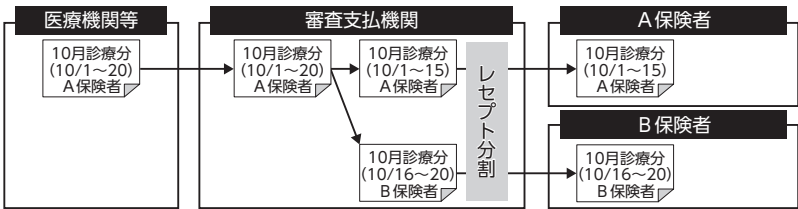
9月診療分(10月請求分)のレセプト審査から、資格喪失の返戻が減少される全ての電子レセ

求される全ての電子レセ

少する「レセプト振替・分割」が始まっている。厚労省は、これにより資格過誤などで返戻されるレセプトが減少するとしており、「資格喪失後の受診に伴う返戻減少」をメリットの一つとするオンライン(OL)資格確認システム導入の必要性はさらに乏しくなる。

レセプト振替・分割は、審査支払機関で被保険者資格の有効性を確認し、受診日・調剤日時点の資格情報に基づいてレセプト請求先(保険者)を振り替え、正しい保険者にレセプトが送付される仕組みとなっている(図)。医療機関から請求される全ての電子レセ

図 月途中で保険者の変更があった被保険者の場合(10/1~15・A保険者、10/16~20・B保険者)



【一面関連】 プトが対象となる(公費併用や高額現物レセプト以外の電子レセプト、紙レセプトは対象外)。レセプト振替・分割が行われた場合は、審査支払機関から「資格確認結果連絡書」により、医療機関に補正後の保険者番号等が通知される。

10・31「保険で良い歯科」市民講座

命を守る政治へ共同

全日本年金者組合大阪府本部副委員長 橋本広子氏

新型コロナ感染が広がる2年近くになり、市民生活はあらゆる面で疲弊しきつています。「第6波」に備え、命を守る政治が大きな関心の的である。私は年金者組合で「高齢者の命を守れ」と日々運動をしています。先の国会で成立した「75歳以上医療費窓口負担2割化法」は、高齢者の命と健康を脅かす人権問題です。窓口負担が増えることで、受診控えが進み重症になるまで医療に掛かれない高齢者が増えるの

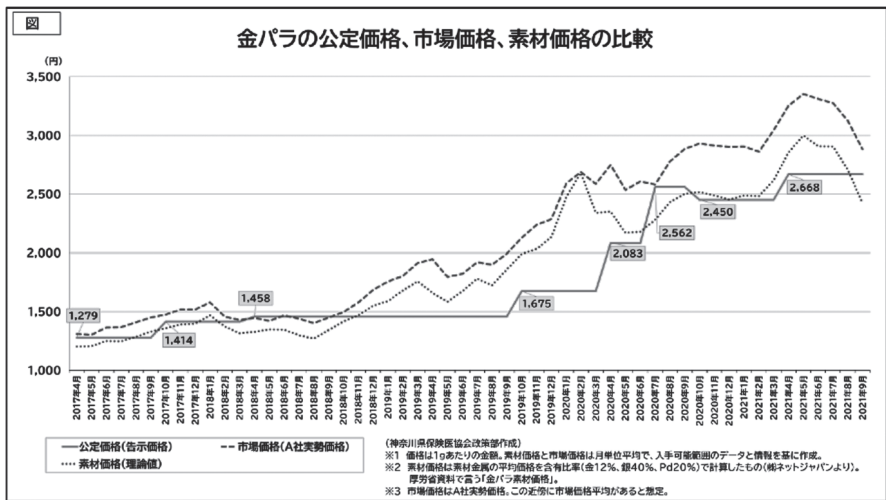
ハミガキする時にはフッ化物配合歯磨剤をたっぷり！ by muraoka fumi



参考文献 1. Hujuel PP et al. Personal oral hygiene and dental caries: A systematic review of randomised controlled trials. Gerodontology. 2018;35(4):282-289. 2. Worthington HV et al. Home use of interdental cleaning devices, in addition to toothbrushing, for preventing and controlling periodontal diseases and dental caries. Cochrane Database Syst Rev. 2019;4(4):Cd012018.

ではと危惧しています。全日本年金者組合大阪府本部は、「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会の呼びかけに応え運動に参加して歯科医療の情勢を学んでいます。「保険でよい歯科」は誰もが、いつでも、どこでも、安心して、安全な歯科医療を受けられるよう、署名や宣伝活動に力を入れています。

この会が皆さんの力で益々大きく根を張って国政や府政を動かし、発展していくことを祈念しています。



金バラ「逆ザヤ」5年平均▲15% 理論値と市場価格の乖離拡大 神奈川協会が調査

神奈川県保険協会は、このほど、金バラの「公定価格」と「市場価格」(素材平均価格(理論値))の過去5年間の推移から、市場価格が公定価格を継続的に上回りの「5年平均の逆ザヤ」率が▲15%に上ること、②厚労省の使用理論値と市場価格の乖離幅も拡大傾向にあるとの報告を発表した。同会は乖離幅の傾向を踏まえて、通常改定の「告示価格」の1・5倍とする公定価格の設定方法を提案している。

改定の場合、公定価格は対市場価格の75・8%にすぎず、「逆ザヤ」率は▲24・2%となっていた。この5年間の平均「逆ザヤ」率は▲15%となっている。金バラの市場価格が上昇軌道にある際は、現行の改定制度では乖離幅は埋まらない仕組みといえる。

【一面関連】 10月31日M&Dホールで開いた「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会の総会、市民講座で、橋本広子氏(全日本年金者組合大阪府本部副委員長)が開会にあたり挨拶した。要旨を紹介する。

020年3月以降、拡大傾向にある。告示価格の1・5倍に設定 神奈川協会は、こうした公定価格と市場価格の乖離動向を踏まえ、「逆ザヤ」が生じさせない仕組みとして市場価格を上回る価格を設定する「超過価格設定&マイナス補正」を提案している。

昔の歯磨き指導 ところが、かつて日本ではフッ化物配合歯磨剤がほとんど入手できないような事情で、歯磨き剤の齶蝕予防効果がなかった。多くの歯科医療従事者が「ハミガキ剤を使わずにハミガキしよう」と教えていた。その方が泡立ちが邪魔にならず、清涼感に騙されずしっかりと磨けるし、研磨剤で歯の摩擦も防げるというのが理由だった。この名残りが、フッ化物配合歯磨剤のシェアが90%を超える現代でも生きているところがある。しかも、刷り込まれた教育のおかげで、最新の科学的エビデンスを伝える専門家の言うことさえも弾くらしい。

予防歯科の患者指導も変わる フロス信仰の強さ フロスの齶蝕予防効果については説明する時も、よく混乱が起きる。フロスが隣接面齶蝕を予防すると疑いのない歯科医療従事者は、乳幼児への仕上げ磨きにフロスを取り入れるように指導しているが、保護者のストレスを増やすだけだろう。フッ化物配合歯磨剤を使った歯磨きにプラスしたフロスのプラーク除去や齶蝕予防の効果は明らかにしておらず、現在では歯肉炎に対する効果のみ認められている。「2」のシステムティック・レビューを紹介して強い抵抗を受ける時、フロスに対する信仰心に近いものを感じる。

予防歯科臨床の最前線



NPO法人 「最先端のむし歯・歯周病 予防を要求する会」理事長 西 真紀子